

《大規模プロジェクトなどの進捗状況》

- 平成19年度以降新たに実施している事業のうち、複数年度にわたり大きな財政負担を伴う以下の事業について、目標や後年度の財政負担など、その全体計画の概要を「東京都予算案の概要」において公表しています。
- これらの事業の平成26年度決算見込みを踏まえて、その進捗状況などを公表します。

古川地下調節池の整備

所管：建設局 開始年度：平成19年度

◇ 目 標

洪水の一部を流入させて貯留する「調節池」（調節容量約13万5千 m^3 ）を整備し、時間雨量50mmに対応させることで、近年頻発する集中豪雨水害の軽減を図ります。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- ・ 平成26年度は、引き続き換気施設等の設備工事を実施するとともに、管理棟の建築基礎工事を実施しました。
- ・ 資材価格や労務費の上昇に伴い、総事業費を増額修正しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額	執行累計額
267億円	38億円	20億円	222億円

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、引き続き設備工事を実施するとともに、建築工事を実施し、同年度の整備完了を目指します。

白子川地下調節池の整備

所管：建設局 開始年度：平成21年度

◇ 目 標

洪水の一部を流入させて貯留する「調節池」（調節容量約21万2千 m^3 ）を整備し、時間雨量50mmに対応させることで、近年頻発する集中豪雨水害の軽減を図ります。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- ・ 平成26年度は、取水ゲートの設備工事が完了したほか、排水設備工事に着手しました。
- ・ 資材価格や労務費の上昇等に伴い、総事業費を増額修正しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額	執行累計額
328億円	11億円	6億円	205億円

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、引き続き設備工事を実施し、平成28年度の整備完了を目指します。

健康安全研究センターの施設整備

所管：福祉保健局 開始年度：平成19年度

◇ 目 標

健康安全研究センターの施設を整備し、健康危機情報の収集・解析機能などを強化することにより、新型インフルエンザの大規模流行など新たな健康危機の脅威への対応力を強化します。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- ・ 平成26年度は、3号館（地上部）等の解体工事を実施しました。
- ・ また、土壌汚染対策に係る実施設計を行い、3号館（地下部）の解体工事や附属棟の新築工事等の修正設計を実施しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額	執行累計額
162億円	2億円	2億円	143億円

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、3号館（地下部）の解体工事、附属棟の新築工事等と併せ、土壌汚染対策を実施し、平成28年度の整備完了を目指します。

西武新宿線（中井～野方）連続立体交差事業

所管：建設局 開始年度：平成24年度

◇ 目 標

中井駅付近から野方駅付近までの2.4kmについて、鉄道を地下化するものであって、7か所の踏切を除却するとともに、道路ネットワークの形成を促進し、交通渋滞や地域分断を解消して、都市機能や利便性を向上させます。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- ・ 平成26年度は、用地取得を行ったほか、駅部地下化工事に必要な工事桁の支持杭打設や軌道移設工事等の仮設工事などを実施しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額	執行累計額
726億円	24億円	14億円	15億円

※ 事業化に向けた調査・設計費用は、総事業費に含まれていません。

※ 総事業費には、鉄道事業者の負担額を含んでいます。

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、引き続き用地取得のほか、仮設工事等を実施し、平成32年度の完成を目指します。

都立南花畑学園特別支援学校（仮称）の整備 所管：教育庁 開始年度：平成24年度

◇ 目 標

隣接する都立南花畑特別支援学校と都立城北特別支援学校を発展的に統合することにより、知的障害特別支援学校の在籍数の増加や特別支援学校に在籍する児童・生徒の障害の重複化に対応していきます。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- ・ 平成26年度は、前年度から引き続き実施していた実施設計が完了しました。
- ・ 資材価格や労務費の上昇等に伴い、総事業費を増額修正しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額	執行累計額
152億円	1億円	1億円	2億円

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、プール棟等の解体工事を実施するほか、校舎の改築工事に着手し、平成32年度の開校を目指します。

京王京王線（笹塚～仙川）連続立体交差事業 所管：建設局 開始年度：平成25年度

◇ 目 標

笹塚駅から仙川駅付近までの7.2kmについて、鉄道を高架化するものであり、25か所の踏切を除却するとともに、道路ネットワークの形成を促進し、交通渋滞や地域分断を解消して、都市機能や利便性を向上させます。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- ・ 平成26年度は、用地取得等を実施しました。
- ・ 事業の範囲に、都市計画事業認可の範囲外である付替道路の整備等の費用を含め、総事業費を1,843億円としました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額	執行累計額
1,843億円	27億円	4億円	4億円

※ 事業化に向けた調査・設計費用は、総事業費に含まれていません。

※ 総事業費には、鉄道事業者の負担額を含んでいます。

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、引き続き用地取得等を実施するほか、付替道路の整備に着手し、平成34年度の完成を目指します。

西武新宿線・国分寺線・西武園線（東村山）連続立体交差事業 所管：建設局 開始年度：平成25年度

◇ 目 標

東村山駅を中心に、西武新宿線、国分寺線及び西武園線の4.5kmについて、鉄道を高架化するものであり、5か所の踏切を除却するとともに、道路ネットワークの形成を促進し、交通渋滞や地域分断を解消して、都市機能や利便性を向上させます。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- 平成26年度は、用地取得等を行ったほか、作業ヤード整備等の仮設工事を実施しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額	執行累計額
714億円	5億円	5億円	5億円

- ※ 事業化に向けた調査・設計費用は、総事業費に含まれていません。
- ※ 総事業費には、鉄道事業者の負担額を含んでいます。

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、引き続き用地取得を実施するとともに、仮設工事等を実施し、平成36年度の完成を目指します。

環状七号線地下広域調節池（仮称）の整備 所管：建設局 開始年度：平成26年度

◇ 目 標

神田川、石神井川及び白子川流域で、「調節池」を連結して、時間最大雨量75mmに対応する「広域調節池」を整備し、洪水の一部を流入させて貯留する「調節池」の機能を流域間で相互に融通して活用することにより、近年頻発する集中豪雨による水害の軽減を図ります。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- 平成26年度は、河川整備計画改定や都市計画決定などの手続きを進めながら、環状七号線地下広域調節池（仮称）の整備に向け、基本設計を実施しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額
740億円	1.8億円	1.7億円

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、引き続き河川整備計画改定や都市計画決定などの手続きを進めながら、詳細設計を実施し、早期の工事着手、平成37年度の整備完了を目指します。

石神井川中流調節池（仮称）の整備

所管：建設局 開始年度：平成26年度

◇ 目 標

時間最大雨量75mmに対応する「調節池」を整備し、洪水の一部を流入させて貯留することで、近年頻発する集中豪雨による水害の軽減を図ります。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- 平成26年度は、河川整備計画改定などの手続きを進めながら、石神井川中流調節池（仮称）の整備に向け、基本設計を実施しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額
140億円	0.9億円	0.8億円

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、引き続き河川整備計画改定などの手続きを進めながら、詳細設計を実施し、早期の工事着手、平成36年度の整備完了を目指します。

境川中流調節池（仮称）の整備

所管：建設局 開始年度：平成26年度

◇ 目 標

時間最大雨量65mmに対応する「調節池」を整備し、洪水の一部を流入させて貯留することで、近年頻発する集中豪雨による水害の軽減を図ります。

◇ 平成26年度の進捗状況等

- 平成26年度は、河川整備計画策定などの手続きを進めながら、境川中流調節池（仮称）の整備に向け、基本設計を実施しました。

総事業費（計画額）	26年度計画額	26年度決算額
150億円	0.9億円	0.6億円

◇ 今後のスケジュール

平成27年度は、河川整備計画を策定し、詳細設計を行い、早期の工事着手、平成36年度の整備完了を目指します。